

企画書



「陶 ISM ウツワノチカラ Project2 ～届ける想い」

この度の東日本大震災で被害に遭われた皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

「陶 ISM」では、器の力で被害に遭われた方々を元気づけることは何か出来ないのか？

そんな思いで「陶 ISM ウツワノチカラ Project」を震災後、立ち上げました。

先日被災地でもある仙台市「晩翠画廊」で開催された「ウツワノチカラ Project1～被災地へ向けて陶 ISM から出来ること」では全国の陶 ISM 登録作家 46 名の器約 1000 点をワンコイン・ツーコインで販売。来場いただいた皆様に喜んで頂き、結果、ほぼ完売の形で会期を終えることが出来ました。(＞詳細レポートは WebSite 陶 ISM にて><http://touism.net>)

陶 ISM としては今後、被害の大きかった地域の仮設住宅や避難所への器の提供を「ウツワノチカラ Project2～届ける想い」と題して継続していこうと思っています。

すでに福島から栃木県内に避難されている方々へ笠間・益子の作家から寄付していただいた器を栃木県のボランティア団体を通じ 2 回に渡り届け、いずれも大変喜んでいただけました。

また、仙台での Project1 の会期中、被害の大きかった宮城県・気仙沼を訪れ、その被害の大きさをこの目で知るとともに、現地で支援活動を行っている方々から色々な話を聞くことが出来ました。

その時に感じたのは、本当に被害に遭われた方々に何かをしたいと思ったときに、実際陶芸家として出来ることはあまりに少なすぎる、という事。
そんな中でも器はたとえ微力でも人を喜ばせ、元気づける力があるようです。

今後、陶 ISM としてはただ器を送り届けるのではなく、可能な限り現地に直接行き、現地で出来ることも何か協力を行いながら、人と人の繋がりの中で出来る支援の形を大切に活動していきたいと考えています。
送り先の方々、現地で支援活動をされている方々とコンタクトを取り、慎重に意見を交換しながら出来る限り届ける先の望ましい形を選びながら届けます。

この「ウツワノチカラ Project2」では、陶 ISM 登録作家・登録企業の枠は越えて協力を求めたいと思っています。
(器の寄付・活動資金の寄付等)

この「器を届ける」という活動を通しての人と人の繋がりが今後の皆さんにとって何か得難いものとなり、生き続けていけば幸いです。

「陶 ISM ウツワノチカラ Project2 ～届ける想い」詳細

活動内容

- ・東日本大震災で大きな被害に遭われた方々、避難所、仮設住宅等への器の無料提供
- ・陶 ISM の登録作家・企業の枠を越えて全国の陶芸作家・企業からの器の寄付・活動資金等の協力を募り、陶 ISM 実行委員の手で直接現地へ届ける。
- ・可能な限り届け先との意見のすり合わせをしっかりと行い、もっとも望ましい形を選んで届ける。
- ・現地での何らかの支援活動も視野に入れて活動する。

※すでに 8 月現在、宮城県 気仙沼（確定）・女川（確定）・石巻（詳細調整中）への器の提供が決まっています。
実際に器を届けるのは 9 月上旬～中旬を最初に、その後は各場所との話し合いの結果次第になります。

※それぞれ届け先のボランティア団体等と連絡を取り合いながら慎重に行います。
※必要な器の数、かかる経費などはその都度届け先との調整の後決定。
※届けた後はウェブ上などでその都度結果報告を行います。

募集・参加協力 要項

作家の皆様へ

今後、ウツワノチカラ Project2 を進めていくにあたり、届け先との意見調節が大事であると思いますが、まず陶 ISM としては作品のストックをしておく事が大事なことだと考え、作家の皆様に対して作品の募集をいち早く開始いたします。

陶 ISM 参加作家のみならず、この企画に賛同して頂ける作家の皆さんに、広く呼びかけたいと考えていますので、お知り合いの方にもぜひお声をかけてくださいますようお願いいたします。

参加・協力していただける作家の皆様は陶 ISM 事務局宛に、お名前・住所・ホームページアドレスをお知らせ下さい。陶 ISM ウツワノチカラのページに随時掲載し、紹介させていただきます。

- 1) 目的 **東日本大震災で大きな被害に遭われた方々、避難所、仮設住宅等への器の無料提供**
陶芸家が陶芸を通して出来る事を考え、参加する。
- 2) 参加条件 日本全国の陶芸作家。陶ISM登録未登録・年齢などに関わらず、企画に賛同していただける作家
- 3) 作品 普段使いの器中心
カップ・湯飲み・小鉢・小皿・中皿・中鉢等
避難所では、禁酒、禁煙でストレスが溜まっていると聞きました。
嗜好品としての器もとても喜ばれると、すでに器を直接届けてる作家さんからの助言です。
徳利・片口・ぐい呑み・ちいさな花器・抹茶碗・小さな陶人形などのオブジェ等
作品数に特に指定はありませんが、沢山あると助かります。
出来る範囲内でご協力お願いいたします。
- 4) 送り先・届け先 〒321-4217
栃木県芳賀郡益子町益子3070-1 岩下製陶 陶 ISM ウツワノチカラ宛
TEL 0285-72-4989
※大変申し訳ありませんが郵送、持ち込みにかかる経費は実費にてご負担お願いいたします。
- 5) 日時 第一回募集：**2011年8月29日上記住所に着指定**でお願いいたします。
第2回目以降はまた追ってお知らせいたします。
- 6) 残った作品 最初集めた作品は残る可能性は少ないと思いますが、このプロジェクトを続け、何度か募集を呼びかけ、最終的に残った場合は何らかの手段で販売し義援金として寄付したいと考えています。

企業（ギャラリー・ショップ・メディア・個人を含む）の皆様へ

震災後、陶 ISM で繋がりのあるギャラリー・ショップ・メディアの皆様からのあたたかい言葉や励まし、本当にありがとうございました。

また、震災後の陶 ISM の色々な活動に対しても「何か出来ることは無いか？」といったお気遣いや、実際に協力いただいた方々もたくさんおり、実行委員会一同とても感謝しております。

実際「ウツワノチカラ Project」に関しましてもすでに「協力したい」「一緒にやりたい」という申し出をありがたいことに何件かいただいております。

現実的に陶 ISM として「ウツワノチカラ Project2」を続けていくにあたり、移動、運搬にかかる経費がどうしても必要になってきます。

先日宮城県気仙沼を訪れた際も、移動時間だけで栃木から片道6時間近くかかり、実際に現地での活動を含めると一日では難しいスケジュールです。

大前提として陶ISMは経済活動を行っている利益団体ではありません。

また、実行委員の生活する笠間・益子もまた今回の震災で大きな被害を受けているという現状もあります。実行委員会のスタッフも当然個々の活動を持っており、それぞれ自分の生活がありますので、すべて陶ISM側からの経費・労力の負担だけではこの活動は長続きしません。

もし、この活動に賛同してくださる企業の方々がいましたら、「陶ISM ウツワノチカラ Project」への活動資金のご協力をお願いいたしたいと思えます。

また、活動資金のみではなく、何らかの形でこの活動に協力・提案をしたい、という方もどうぞご相談ください。

例)

①チャリティーイベントの開催>売り上げをこの活動に寄付

②届け先での器の提供と絡めた炊き出しやその他の関連品の提供（箸やコースター等の食卓の道具）等

1) 寄付方法

特に金額の指定はございません。
お気持ちをお願いいたします。

「ウツワノチカラ Project」専用口座（郵便口座）

【店番】 078 【預金種目】 普通預金 【口座番号】 0359954 陶ISM実行委員会 宛

2) 寄付金使用目的

「ウツワノチカラ Project2」における器の運搬にかかる移動経費・現地でのスタッフ滞在費、及び食経費などの一部・この企画における事務費等。

※資金運用に関しましては寄付していただいた皆様には最終的に報告書を作成して報告。
活動が終了した後、最終的に残った寄付金があった場合は東日本大震災関連の義援金としてすべて寄付し、陶ISM側には一切残しません。

3) その他のご提案

陶ISM事務局（栗谷・ウツワノチカラ Project 担当者）までご連絡ください
〒321-4101 栃木県芳賀郡益子町小宅162
0285-70-6550 / 080-1188-7603

E-mail : tou.ism@gmail.com
Twitter : @bonkuri
Facebook : Kuriya Masakatsu

出来る限り、無理のない体制で細く長く続けていく活動になれば、と考えておりますので、どうぞご協力の程、宜しく
お願いいたします。

また、お知り合いの企業・個人の方にもこの活動をご紹介していただけると幸いです。

それではよろしく願いたします。

お問い合わせ先

陶ISM実行委員会

代表・二階堂明弘 Tel 090-4172-9759

陶ISM事務局・栗谷昌克 Tel 0285-70-6550 / 080-1188-7603

WebSite陶ISM : <http://touism.net>

E-mail : tou.ism@gmail.com

※「ウツワノチカラ」Project に関してのお問い合わせは栗谷まで。